

学生協働支援隊 西条地域 活動報告書

【歴史広場の活用を考えるワークショップ事前打ち合わせ】

- ・ 日 時 : 2023 年 8 月 21 日 (月) 9:30~10:30
- ・ 参 加 者 : 合計 4 名 (学生 1 名、地域 1 名、市民協働センター 2 名、)
- ・ 活 動 内 容 : 9 月 22 日 (金) に開催する、「歴史広場の活用方法をみんなで考えよう！ワークショップ」の事前打ち合わせと会場下見を行った。
- ・ 協議内容 :

○歴史広場の活用を考えるワークショップ参加者の確認

ひとむすび大人 : 山田、岡本、西

学生 : 9 人

自治協から 4~5 人 : 景山、鈴木会長、木村さん、木原さん、部会員

賀茂鶴から 1 人 : 太田さん

文化課 : 1 人 (西条自治協で声掛け)

高校生 : (西条自治協から声掛け)

合計 : 20 名前後予定

○スケジュールの確認

前日 (21 日) に、酒蔵をまわって、歴史広場を観ておく。

9 月 22 日 (金) 17:00~19:00

16 時 : 西 WS 会場へ (机の配置、ペン、付箋、用紙など) 5 島 (1 テーブル 4 名~5 名)

歴史広場 17 時集合

現地を見ながら歴史広場の話を 10 分ほど

○ワークショップの内容

歴史広場について知る時間 (歴史広場にて) 10 分~20 分

歴史広場から WS 会場へ移動 (徒歩 2 分)

小泉新聞舗 2 階のサロン (西条本町 11-18)

学生協働支援隊 西条地域 活動報告書

チェックイン（自己紹介）

歴史広場を観てどう思ったか？

どういう活用ができるか？（どんなことができそうか、どんな場所にしたいか？）

チェックアウト

○成果物の確認

ワークショップで出た内容をまとめて西条自治協へ提案する。（学生協働支援隊 井上、西）

・活動の様子：写真なし

学生協働支援隊 西条地域 活動報告書

【歴史広場についての事前学習】

- ・ 日 時 : 2023 年 9 月 21 日
- ・ 参 加 者 : 合計 12 名（学生 8 名、地域 4 名）
- ・ 活 動 内 容 : ワークショップに向けて、歴史広場や西条酒蔵通りについて学ぶ機会として、学生ガイドから学生協働支援隊が観光ガイドを受け事前に地域について知る機会を設けた。ガイドは 10 時から 12 時過ぎまでで、2 班に分かれて行った。ガイドに参加した学生協働支援隊は、情報の量や時間設定がちょうどよく、自分で歩くだけではわからないことを知れてとても良かったと感想を残していた。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り



学生ガイドの説明を受けている様子

学生協働支援隊 西条地域 活動報告書

【ワークショップのためのファシリテーション勉強会】

- ・ 日 時 : 2023 年 9 月 21 日
- ・ 参 加 者 : 合計 12 名（学生 6 名、地域 3 名）
- ・ 活 動 内 容 : 22 日に行われる、西条歴史広場の活用方法を考えるワークショップのために、ファシリテーションについて事前勉強会を開催した。ファシリテーションとは何かや、聞く時、話すときに意識すべきことについて学んだ。その後、実際に 2 グループに分かれて 2 つのお題について議論し、ファシリテーションの練習を行った。各お題で、ファシリテーターと書記係を設け、学んだことを実践した。同じお題であっても、グループで進め方や様子も違い、グループの方向性などにファシリテーターが大きく影響していることがわかった。今回は顔の知れた人同士で行ったが、明日開かれるワークショップでは初めて会う、年齢層の違う人との議論になるため、相手の意見をきちんと受け入れて称賛することや、話がそれた際には正しい方向に修正するなど、今日は行わなかったことをする必要があることを学んだ。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



班ごとにお題に取り組んでいる様子。

学生協働支援隊 西条地域 活動報告書

【歴史広場の活用方法を考えるワークショップ】

- ・ 日 時 : 2023 年 9 月 22 日 (金) 17:00~19:00
- ・ 参 加 者 : 合計 23 名 (学生 8 名、地域 13 名、市民協働センター2 名、)
- ・ 活 動 内 容 : 西条本町歴史広場(西条酒蔵通り 歴史庭園)は、西条の歴史や文化に触れる事が出来るスポットであるが、近年賑わいがなくなっている。歴史広場の活用方法を考えるワークショップを、学生協働支援隊のファシリテーションのもと行い、学生の視点や力を活かしながら、地域の人と若い人(高校生や大学生)と一緒にアイデアの抽出を行った。はじめに全員で歴史広場を見て、歴史広場とはどういうものかということのを西条の自治協議会会長から教わったのち、ワークショップを行った。各班 5 人から 6 人で 4 つの班になり、最終的に 1 つの案に絞り、班ごとに発表を行った。班ごとに、会議の進め方などに違いが見られ、ファシリテーターが会議に及ぼす影響力の大きさが垣間見られた。発表では、四日市を定期的に関きイベントを行う、東屋を開く、お茶屋を開き、顔出しパネルなどを設置する、小学生の発表の場として活用するなど、多種多様な意見が出た。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



ワークショップの様子

- ・ 西条自治協議会に提出した報告書は別紙添付
- ・ 当日の写真へのリンク → <https://photos.app.goo.gl/UrK27X2RT4MwzFSj9>

学生協働支援隊 西条地域 活動報告書

【学生協働支援隊員の感想】

- ファシリテーターではなかったが、班の人が会議に協力的で、自分の想像よりもスムーズに進んだ。結論に、実現性を強く求めていなかったことも、会議がやりやすかった要因だと思う。結論に、より実現可能性の高い案を求めれば、会議はもっと難しかったのではないかと思った。
- 昨日に引き続き、ファシリテーターを担った。昨日は抽象度の高い話から始めてしまったことが反省だったため、今回はそれを改善し、具体的な話から入った。話題のきっかけを投げると、全員が全体のバランスを気にかけながら議論を進めた。メンバーによって会議の良し悪しが変わると感じた。議題がもっと重かったり、集まるメンバーによっては、合意がとりにくかったのではないかと思った。
- 3グループと全く違う進行だったと思うが、やりたいことができてよかった（ファシリテーター）。郷土史研究会、行政の方など、立場ごとの話を聞けたらなお良かった。自分はフラットに聞いたが、人の考えに引っ張られた。時間配分を間違えたのが反省点。他人から見てどうだったのか気になる。
- ファシリテーションは思うようにならない。ファシリテーターは本当に会議をコントロールすることができるのか疑問に思った。みんな和気あいあいとできた。最終的には良かったのではないのか。
- コントロールできる、できないのではなく、コントロールする、しなければならないのが、ファシリテーターの役目なのではないかと思う。自由に話をさせることはしつつも、目的・ゴールには届くようにする必要があったと感じた。
- 色々な意見が出たが、それをどうまとめていくか考える時、自分はもっと案を絞ればいいのではないかと思っていた。しかし、ファシリテーターは、ざっくりまとめる方向で進めていた。このまとめ方に対して違和感があったが、時間をみたり振り返ったりした際に、このまとめ方に問題はなかったと分かった。潔さ、というものが重要だということが分かった。反省点として、どれが一番必要なメッセージか分からなかったことが挙げられる。
- ファシリテーターは、ある程度強引に進める必要があると思う。他者の合意をとりきらずに進めたところは反省点。それもあって、発表の内容に一貫性が欠けていた部分もあったと思う。発表に使う紙芝居の絵を描く時間をとりすぎたので、その時間を10分程度に抑えて、他の話し合いに回せたのではないかと思った。時間管理ミス。話し合えてよかった。
- ファシリテーターは学生だったが、普段人をまとめることを仕事にしている地域の方がその役を代わって話を進めていく状態だった。その様子を見て、ファシリテーターの学生はその役を取り返さなくていいのか、と思っていた。しかし、ファシリテーター役の学生がタイミングを見計らって、柔軟にファシリできていたのが参考になった。案出しのときに細かく詰めすぎていた場面があり、そこを止められなかったので、止める力を身につけたいと思った。



「歴史広場」をどんな場所にするかを考えるワークショップ

歴史広場の魅力を発見しながら、歴史広場の活用方法をみんなで考えるワークショップを開催します。歴史広場がどんな場所になってほしいか、一緒にわいわい考えてみませんか？
歴史広場に関心や愛着のある方、どなたでも歓迎です。ぜひご参加ください。

イベント詳細

日時：2023年9月22日（金）17:00-19:00

場所：西条本町歴史広場（西条酒蔵通り 歴史庭園）

定員：20名程度



酒都西条の歴史が詰まった場所です！

お申込みはこちら！



主催：西条住民自治協議会

運営補助：学生協働支援隊（東広島市民協働センター）hhhitomusubi@gmail.com